日向市社会福祉協議会

社協だより ハートフル

10号

2016年

1946-2016 今年で70周年

日向市社会福祉協議会は、宮崎県共同募金会日向市共同募金委員会の事務局を担っており、赤い羽根共同募金活動を行っています。募金活動が始まって今年で70年。

「募金がどのように使われていくのか?」

「自分の町を良くするしくみとは?」

今一度赤い羽根共同募金について知りませんか?

※P2より赤い羽根共同募金の説明や、本広報誌初の“動く広報誌”もぜひご覧ください。

赤い羽根共同募金がスタートします！

赤い羽根共同募金運動は、昭和２２年に、「国民たすけあい共同募金」として始まり、平成２８年は、７０回目を迎え、戦後の社会福祉の復興から始まったこの運動は、それぞれの時代における福祉課題の解決や地域福祉の推進のため、進められてきました。

日向市共同募金委員会では宮崎県共同募金会の事業計画を基本にしながら、日向市区長公民館長連合会、日向市民生委員児童委員協議会、ボランティア団体等や関係機関との連携強化を図り、事業運営の透明性の確保や広報・啓発活動に努め、市民一人一人に支えられた共同募金運動を展開し、地域福祉の推進につながる適正な助成に努め、「地域の力」を育てる募金にしていきます。

募金方法の種類と募金の流れ　（じぶんの町を良くするしくみ）

じぶんの町（地域）

区長公民館長連合会の
ご協力による戸別募金
目標額　3,120,000円

民生委員児童委員のご協力
のもと市内の企業や商店か
らいただく法人募金
目標額　1,800,000円

市内のイベントや
店舗前での街頭募金
目標額　800，000円

社会福祉施設職員のご協力に
よる職域募金
目標額　１００，０００円

平成２８年度
募金目標額
６，７７２，０００円

小中学生の児童・生徒の
ご協力による学校募金
目標額　１００，０００円

募　金

日向市共同募金委員会

送　金

宮崎県共同募金会

配　分

宮崎県内の福祉施設や団体へ助成

日向市内の福祉団体やボランティア団体へ助成

地域への還元
じぶんの町を想って
した募金がじぶんの町
を良くする活動費に！

募金の使いみち！　（共同募金は『計画募金』）

共同募金は『計画募金』です。平成２９年度に必要な福祉活動費を平成２８年度の目標額に設定して募金活動を行います。

【平成２８年度募金による平成２９年度助成計画】

１．高齢者関係福祉活動費　１３０，０００円
日向市在宅介護者の会「思いやりの会」、日向市高齢者クラブ連合会

２．障がい児者関係福祉活動費　９１０，０００円
日向市障がい者団体連絡協議会、東郷町身体障害者福祉会、日向市視力障害者福祉会、日向聴覚障害者協会、肢体障がい者「友愛会」、日向市肢体不自由児父母の会

３．児童関係福祉活動費　８９０，０００円
日向市保育協議会、福祉推進校（小・中学校）、県北地区里親の会、日向市母子寡婦福祉連絡協議会

４．住民全般福祉活動費　８６４，０００円
日向市区長公民館長連合会、日向市ボランティア連絡協議会、各ボランティア団体、日向地区更生保護女性会、日向市民生委員児童委員協議会

５．宮崎県全域福祉活動費　３，９４８，０００円

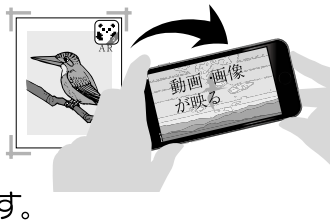
平成２８年度歳末たすけあい助成事業の申請受付を開始しました！

毎年、１２月に実施する『歳末たすけあい募金運動』にて、市民等の皆さまから寄せられた募金は住民の様々な福祉活動や地域住民、各種団体が共同・協力して推進する地域の歳末たすけあい活動を助成しています。平成２８年度の助成事業申請について、下記のとおり募集します！

助成対象事業	平成28年12月1日（木）から平成29年3月31日（金）までに実施予定の地域における歳末たすけあい及びふれあい活動。 例）一人暮らし高齢者宅等へのおせち料理の配達、高齢者・障がい者とのクリスマス会、高齢者や子どもなど地域の世代間交流（餅つき、しめ縄づくり、蕎麦打ち体験など）、高齢者・障がい者宅の年末大掃除など
助成対象団体	日向市内の区・班（自治公民館）、個人ボランティア、ボランティア団体、民生委員児童委員、その他社会福祉協議会が認める個人・団体。
助成金額	１団体（１区・班）・個人あたり20,000円が上限。
申請方法	平成28年度歳末たすけあい助成事業実施要項に定める所定の様式に必要事項を記入し、実施地区区長の確認を得て、所定の期間内に申請書を日向市社会福祉協議会総務課総務係へ提出。
申請期間	平成28年10月11日（火）～平成28年11月11日（金）
その他	※助成金の交付は、11月下旬開催の審査委員会にて助成決定または却下を審査されます。 ※実施済事業の助成金申請や申請事業の実施地域が同一の区に２つ以上ある場合など、審査結果として、却下を行う場合がありますので、申請前に実施要綱の確認や十分な協議を行ってください。

共同募金で動く広報誌！始めました！　（専用アプリをスマホに入れて、記事を写すと。。。）

①スマホやタブレットで
COCOAR2アプリ（無料）
をダウンロード
②COCOAR2アプリ（無料）
を起動
③ AR のついた画像をスキャンします。
④動画・画像が映ります。



アプリをダウンロードして今すぐ体験！

専用アプリ（無料）
COCOAR2

COCOAR2（ココアル2）は、スマホやタブレットに収めた画像を認識し、動画や画像などを閲覧できる無料アプリです。iOSをご利用の方は、App Storeより、Androidをご利用の方はGoogle Playより「COCOAR2」と検索するか、左記QRコードからダウンロードサイトにアクセスし、アプリをダウンロードしてください。

iOSの方 ダウンロード App Store
AndroidOSの方 ダウンロード Google Play

※動作環境：iOS 7.X以上/Android 4.X
※マーカーを認識する速度や動画などを安定した再生は、端末の仕様や通信環境に左右されます。

まだまだ続く→

自分の町をよくしたい！想いを届ける「もう一つの方法」

「募金をする」以外にも、ボランティアとして街頭募金活動で「募金を呼びかける」のも想いを届ける方法の一つです。日向市においても、毎年街頭募金に多くのボランティアが参加し、ともに活動していただいています。

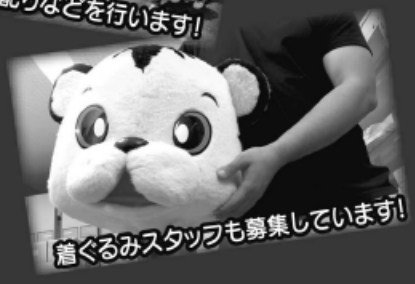
ぜひ、街頭募金活動ボランティアスタッフとして、一緒に街頭での募金の呼びかけに参加してみませんか？

１０月の活動は以下のとおりです！

誰でも参加は可能です！

活動名：日向市十五夜祭り　街頭募金活動
日　時：平成２８年１０月８日（土）、９日（日）
　　１２：００～１８：００の間で協力可能な時間
場　所：日向市十五夜祭り会場
内　容：赤い羽根共同募金街頭募金活動
参　加：資材の準備や人数の把握のため、事前申し込みを
　　お願いしております。
※詳しくは、日向市共同募金委員会事務局
　ＴＥＬ：５２－２５７２　穴谷、田村まで

赤い羽根の配布や
風船配りなどを行います！


着ぐるみスタッフも募集しています！

赤い羽根共同募金いまさら聞けないあんなこと、こんなこと！

①キャラクターの名前知っていますか？

共同募金運動のシンボルキャラクターは「愛ちゃんと希望くん」です。

愛ちゃんと希望くんは、昭和61年、公募により採用された図案をもとに誕生しました。

シンボルキャラクターのふたりは兄弟で、姉が愛ちゃん、弟が希望くんといいます。

②何で赤い羽根なの？

昔、ヨーロッパやアメリカで赤い羽根が「善い行い」や「勇気」の象徴とされてきたことによると言われています。

③日本だけで行われてるの？

19世紀のイギリスで、慈善組織協会に寄付金を積み立てることからスタートし、1913年にアメリカで組織だった「共同募金」が誕生しました。現在では、アメリカやカナダなど43の国や地域で行われています。

④赤い羽根共同募金トリビア　～共同募金のルーツ～

共同募金のルーツは、はるか昔のスイスの山深いまちの牧師さんから始まりました。「与えよ　取れよ」と書かれた箱を道路わきに置き、困った人が箱の中から自由にお金をもっていき、逆に箱の中にお金を入れる人もいました。ここから「匿名性」「任意性」「信頼性」の3つの基礎が共同募金運動に繋がっていくようになりました。

日向市民の皆様のご支援・ご協力を宜しくお願い致します。

日常にふくしをプラス!

プラス ボランティアセンター

ボランティア全般のご相談や情報提供をしています。
ボランティアセンターを活用しませんか？

日向市社会福祉協議会では、ボランティアがしたい方、人のために自分の特技や力を使いたい方（活動者）と、ボランティアをしてほしい人（依頼者）をつなぐ、ボランティア・市民活動センターを設置しています。

ボランティアに関する相談はもちろんのこと、希望に応じたボランティア活動の開発などを支援しています。

ボランティアに関心がある、ボランティアをお願いしたいという方はぜひ、日向市ボランティア・市民活動センターにお越しください。

ボランティアとへべすを愛する
日向市ボラセン非公認ゆるきゃら
ラボスくん　（作：葉さん）

【ボランティアセンターではこんなことができます！】

①ボランティア登録
…登録者には定期的なボランティア情報の提供

②ボランティア保険への加入やご相談
…ボランティアに関する保険全般への対応

③災害ボランティアに関する研修や訓練等の情報提供
…災害ボランティアに関する各種取り組みや被災地の現状などの情報提供、訓練への参加など。

ボランティア団体等の会議にも
ぜひご活用ください。

[ボランティアに関するご意見・ご相談]
日向市ボランティア・市民活動センター
TEL：52－2577　担当：五十川裕真

災害ボランティア訓練延期のお詫び

9月24日（土）に予定しておりました、「災害ボランティアセンター運営訓練」ですが、9月20日に発生しました「台風16号」の被害等を考慮して、延期させていただくこととなりました。参加を予定していただいておりました皆様には、大変ご迷惑をおかけしました。

なお、延期の日程については、次号広報誌について詳しくお知らせいたします。

熊本地震をはじめ、今回の台風被害からの学びを活かした研修および訓練を実施したいと考えております。

地域の皆さまの日頃からの災害への“意識”と防災活動に関するご理解とご協力をお願い致します。

今回の台風16号にて床上浸水等被害を受けた方への、一般ボランティアによる支援も行われております。支援が必要な方、災害ボランティアに関するお問合せは

日向市ボランティア・市民活動センター
TEL：52－2577　担当：五十川まで

プラス 傾聴ボランティア

傾聴ボランティア
始めませんか？

「傾聴ボランティア」。
人の心に寄り添いながら、対象者の想いや、悩みを聴き出し、心が安らぐ空間をつくり出す活動です。

日向市社会福祉協議会では、傾聴ボランティア養成講座を受講された会員により組織された「傾聴ボランティアのぞみ」の活動を支援しています。

傾聴ボランティアのぞみでは…

福祉施設や
地域の集いで活動

交流会

定期的な勉強会

自分のチカラを人のために使いたい方
仲間づくりをしたい方、傾聴活動に興味のある方、
ぜひ一度覗いてみませんか？

10月の集まりは21日（金）14時より
場所は大王谷コミュニティセンター図書室にて行います！
11月には、「傾聴講座」も実施しますので、ぜひご参加ください！
詳しくは、11月号の社協だよりにてご案内いたします。

[傾聴に関するお問合せ　TEL：52－2577
担当：五十川まで]

認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指して一緒に走りませんか？協力者募集中!!

RUN TOMO-RROW 2016
HOKKAIDO to OKINAWA

RUN伴（ラントモ）とは、認知症になっても安心して暮らせる地域づくりをめざして、認知症の人もそうでない人も、みんなでタスキをつないで日本を縦断するプロジェクトです。

RUN伴宮崎県日向市エリア参加者募集中！

参加方法には、以下のような手段がございます。

つなぎたい！ タスキをつなぎたい人

ＲＵＮ伴は、認知症の人もそうでない人も地域の人が一緒に時間を共有することを大切にしています。ご家族、友人、会社の仲間等で誘い合って、ぜひ“チーム”でご参加ください。
※無理して走る必要はありません。ゆっくり歩いても結構です。

手伝いたい！ 準備から楽しみたい人

ＲＵＮ伴は開催地区のメンバーが実行委員会を組織し、ボランティアで運営しています。
実行委員は、参加者への連絡、当日の連絡など、地域の繋がりを生み出すＲＵＮ伴を支える立役者。日向地区での実行委員協力者を募集しています。

応援したい！ 走るコースをオレンジ色に染めませんか？

ランナーを盛り上げる沿道での応援は大歓迎です。地域をオレンジ色に染めて、盛り上げてください！
走るルートや時間については、参加・協力者集計後、希望に応じて設定し、様々な伝達手段でお知らせさせていただきます。詳しくは事務局へお問い合わせください。

参加費が必要です！

RUN伴の運営費や参加者の証である「RUN伴オリジナルTシャツ」の準備があるため参加費をいただいております。参加を希望される方は、お手数ですが参加費の準備をお願い致します。

RUN伴
オリジナルTシャツ

参加費
お1人2,500円
※詳しくは事務局に
お問い合わせください。

日向市エリアのコースは…
スタートは日向病院、
そこから宮崎市に向けて
国道10号線南下します！

RUN伴について詳しく知りたい方は！

RUN伴 検索

RUN伴動画が見られます。

【RUN伴に関するお問合せ】
RUN伴宮崎県日向市ブロック実行委員会　事務局
TEL:52－2572　担当:成合進也、五十川裕真

じどうかん・センターだより

指定管理者として日向市から管理を受託して、事業運営を行っています。

だいおうだにじどうかん 大王谷児童館

TEL:50−1117

10月13日（木）

『ちびっこ運動会』（幼児親子）

☆ミニミニ運動会！！
親子で元気に体を動かしましょう♪
- 時　間　10：30～11：30
- 締　切　親子で20組！

※定員に達した場合はキャンセル待ちになります

10月15日（土）

『楽しいお茶会』（小学生）

☆お茶の作法を楽しく学びましょう！
- 時　間　14：00～15：30
- 締　切　10月13日（木）

10月27日（木）

『親子でリズム遊び♪』（幼児親子）

☆いろいろなリズムに合わせて体を動かしてみましょう♪動きやすい服装でどうぞー！！
- 時　間　10：30～11：30
- 締　切　定員20組！

※定員に達した場合はキャンセル待ちになります

10月29日（土）

『和太鼓に親しもう』（小学生）

☆和太鼓グループ「天地鼓響」による迫力ある演奏が聴けるよ♪太鼓叩きの体験もできます。
- 時　間　14：00～15：30
- 締　切　10月27日（木）

ひちやじどう 日知屋児童センター

TEL:52−8443

10月14日（金）

『読み聞かせ会』（幼児親子）

☆読み聞かせサークル「めにめに」の方が絵本や紙芝居、手遊びなどで子どもたちを夢の世界へ誘います♪お母さんもとっても勉強になりますよ！
- 時　間　10：00～11：30
- 締　切　10月7日（金）

10月22日（土）

『レッツ！クッキング♪』（小学生）

☆自分たちでお昼ごはんを作ってみよう♪
大人気の「おにぎらず」に挑戦！！どんな具を入れようかな？！
- 時　間　10：00～13：00
- 場　所　日知屋児童センター・日知屋公民館調理室
- 締　切　定員（30名）になり次第

※持ってくるもの　エプロン、三角巾、ハンカチ

世代間交流 in 日知屋児童

9月3日（土）、江良区と公園通り区の高齢者クラブの方々、児童の祖父母の方々をご招待して「世代間交流」を開催しました。カフェでおもてなしをした後は、一緒に手遊びや認知症予防体操を楽しみ、とっても仲良くなれました。また、子どもたちが事前に練習したタクティールケアを高齢者の方にやってあげました。これは道具も必要なく、いつでも誰でも気軽にできる癒しのマッサージです。皆さんとっても気持ち良さそうで、会場はほんわかと温かな雰囲気に包まれました♪

日向市生活相談・支援センター心から（ここ）

生活に困窮されている方の支援にご協力ください

「日向市生活相談・支援センター心から（ここから）」では、様々な生活上の相談を受け、自立に向けた支援を行っています。その支援の一環として「食糧支援事業（フードバンク）」を実施しております。

食糧支援事業（フードバンク）とは、ご家庭で眠っている食品等をご寄贈いただき、生活に困窮している方や福祉施設等に無償で提供する取り組みです。

ご家庭で眠っている食品等ありましたら、ぜひご協力をお願い致します。

受付窓口：日向市総合福祉センター事務所窓口
受付時間：月曜日から金曜日の８時３０分～１７時３０分

～ご寄付いただきたい食品例～
○うどん、そば、パスタ
○乾物　○缶詰・瓶詰食品
○フリーズドライ食品　○レトルト食品
○飲料　○調味料各種、食用油
○インスタント食品　など

特にインスタント食品、レトルト食品を募集しています。お米は、多くの方に寄贈していただいており、現段階では、間に合っております。

ー注意事項ー
※賞味期限が明記されているもの
※常温保存が可能で賞味期限が１ヶ月以上あるもの
※未開封であるもの
※お米は常識の範囲内で古くないもの
※食品の状態などによってはお断りする場合があります。

平成２８年度　フードバンク　食品給付一覧（４月～９月）
皆様よりいただいた物資を支援につなげた件数は、下記の通りです。

月	件数
４	４件
５	３件
６	なし
７	７件（内、東郷１件）
８	３件
９	２件

「もったいないを、ありがとうへ」

香典返し・一般寄付ありがとうございました。

〈香典返し〉敬称略　　平成28年8月分

喪主（または寄付者）	故人	地区
伊藤三郎	伊藤寿美子	小野田
小松年光	小松美智子	鶴野内
金井美敏	金井年春	新財市
猪須智子	猪須健次郎	西草場
福村真盛	福村佐美子	高砂
甲斐富美代	甲斐マサヱ	羽坂
甲斐房子	甲斐正	堀一方
金丸ユリ子	金丸匠	福瀬
米原ノブ	米原繁敬	立縫
黒木美奈子	黒木義美	永江

社協日記

「想（おも）え花咲く　この郷土　築くわれらは　民生委員」と歌われる「民生委員の歌」は、団塊の世代が誕生している昭和２３年に民生委員への理解と協力を得るためにつくられました。この年から民生委員が児童委員を兼ねるようになりました。

民生委員・児童委員は、民生委員法の要件を満たす方に委嘱され、ほとんどの活動がボランティア的なものです。活動内容は、地域住民の相談、社協などへのつなぎ役、また、高齢者等の見守りや安否確認などで、地域福祉を支える人材として重要な役割を果たしています。毎月、地区定例会において活動内容の協議や情報交換などを行いながら、地域福祉活動等に精励されています。

本市では、現在、１３９名の民生委員・児童委員さんが活動されていますが、２４年の長期にわたり務めている方や８３歳で元気に務めている方もおられます。社会奉仕の精神で活動される民生委員・児童委員さん方に、いつも感謝しています。

来年、平成２９年には、民生委員制度の始まりとなった「済世顧問制度（１９１７年）」創設から１００周年を迎えます。民生委員制度が今日まで継続されてきたのは、生活困窮者支援等に取り組みながら、その時期に応じた活動を行い、一貫して地域福祉増進の担い手として大事な役割を果たしてきたからにほかなりません。民生委員制度の益々の発展をご祈念申し上げたいと思います。

（ひこぴー）

【発行者】
社会福祉法人
日向市社会福祉協議会
［日向市ボランティア・市民活動センター］
〔日向本所〕
〒883-0034　日向市大字富高207-3
日向市総合福祉センター
TEL(0982)52-2572／FAX(0982)52-9562
〔東郷支所〕
〒883-0102　日向市東郷町山陰丙1265-2
日向市東郷地区総合福祉センター
TEL(0982)69-2116／FAX(0982)69-2274
ホームページアドレス　http://hyuga-shakyo.or.jp/
Eメールアドレス　hyuga207@eagle.ocn.ne.jp

この情報誌は市民の皆様からいただいた社協一般会員会費で作られています。
この情報紙は再生紙を利用しています。
印刷所　有限会社　第一印刷